

令和５年度第３回図書館利用者懇談会記録

|       |                                                                                                                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称    | 令和５年度第３回 図書館利用者懇談会                                                                                                                                                     |
| 日時    | 令和６年３月２３日（土）午後２時から３時３０分まで                                                                                                                                              |
| 会場    | 緑が丘文化会館本館第１・２研修室                                                                                                                                                       |
| 出席者   | <p>１９人<br/>内訳 利用者９人<br/>区側（図書館・事務局）１０人<br/>八雲中央図書館長、庶務係長、事業計画係長兼大橋図書館長兼緑が丘図書館長、企画調整担当係長兼目黒区民センター図書館長、資料係長兼守屋図書館長、サービス係長兼目黒本町図書館長兼洗足図書館長、貸出・予約係長兼中目黒駅前図書館長、事務局（庶務係）</p> |
| 懇談会次第 | <p>１ 開会<br/>２ 八雲中央図書館長挨拶<br/>３ 図書館からのお知らせと意見交換<br/>４ 閉会</p>                                                                                                            |
| 配布資料  | <p>１ 次第<br/>２ 目黒区の教育 令和４年度事業報告書 図書館抜粋(５ III 図書館)<br/>３ アンケート</p>                                                                                                       |

主要な発言

**１ 開会**

令和５年度第３回目黒区立図書館利用者懇談会を開催いたします。本日はお集まりいただきまして誠にありがとうございます。それでは、八雲中央図書館長より開会のご挨拶を申し上げます。

**２ 八雲中央図書館長挨拶**

**図書館長：**日頃から図書館をご利用いただき、誠にありがとうございます。本日ご参加いただいたかたは図書館をよくご利用くださり、目黒区の図書館運営に貴重なご提案ご意見などをくださる方々であると思っております。これまでの２回はバックヤードツアーや図書館の裏側の紹介と懇談という形で行いました。今回は、目黒区立図書館の事業概要や、今年度実施した事業報告をさせていただきたいと思っております。忌憚のないご意見をいただき、より情報や意見を交換して、実りある懇談会にしていきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（出席者紹介）

**３ 図書館からのお知らせと意見交換**

**司会：**それでは今年図書館で実施した取り組みについて、各担当係長から報告いたします。その後、皆さまから図書館の利用に関するご意見や様々なエピソード等をいただき、情報交換を行いたいと考えております。

**図書館：**それでは図書館の取り組みについてご説明いたします。お手元にお配りした

「目黒区の教育」の令和４年度版の事業報告は、前年の１年間を通して図書館がどのように使われてきたのかを、前年の記録として発行しているものです。今年度については未掲載ですので、簡単に説明いたします。今年度の利用実績等については、コロナが第５類になったことで、コロナ禍に下がった利用が段々と回復傾向にあり、貸出や予約、来館者数が増加しています。今年度は新たなイベントやサービスを始めておりますので、ご紹介いたします。

区民の方々の利用を促進し読書活動を推進するため、目黒区立図書館基本方針の目指す方向性を踏まえて、様々なイベント等の取り組みを行っています。

令和５年度に図書館で実施した子ども関連の事業については、まず、例年４月２３日から５月１２日は、読書推進運動協議会による子どもの読書週間とされています。各地で様々なイベントが開催され、目黒区立図書館でも、図書館基本方針で示された「子どもたちを本の世界にいざなう」という取り組みの一環として、期間中、各図書館で多くのお子さんに来館して絵本に親しんでいただきたと考え、「おはなし会」を中心としたイベントを実施しました。主なものとしては、本を使って或いは本を紹介しながら、しおりなどを作る工作やミニ実験と合わせた「スペシャルおはなし会」を、八雲中央・守屋・洗足図書館などで行いました。お話を聞くだけではなく、工作や実験に参加することで、より本への興味が深まったのではないかと考えております。また、目黒区民センター図書館、大橋図書館では中庭や天空庭園での「青空おはなし会」を企画しました。目黒区民センターでは、残念ながら雨が降り中止となりましたが、大橋では開催でき、普段と異なる図書館外の開放的な雰囲気の中でお話を楽しんでいただけたと思います。

次に７月２１日から８月３１日までの夏休み期間中は、幼児、児童・生徒の図書館利用の促進を図ることを目的として、中目黒駅前図書館を除く７館で「夏休みのイベント」を実施しました。主なものとしては、緑が丘図書館では、児童書を保存している保存庫のツアーを行い、多くの方にご参加いただきました。大橋・目黒区民センター・目黒本町図書館では、クイズラリーを単なるクイズ大会ではなく、クイズの答えを探す過程で本を探したり、本で調べたりする仕組みを作って実施いたしました。参加者数は、３館合計で１,５２０人でした。子ども関連のイベントの報告につきましては以上です。何かご質問・ご意見などがございましたら、お聞かせください。

**司会：**それでは改めまして、ご発言をいただく前に利用している図書館名とお名前をいただけますとありがたいと思います。

**参加者：**私は大橋図書館のおはなしボランティア団体の代表をしております。

先ほど青空おはなし会の報告があり、沢山のかたにいらしていただき楽しかったのですが、お願いがあり本日参加しました。

ホームページは今の状況がわかるので良い方法だと思いますが、全戸配布になったためぐろ区報をもっと活用してほしいと思っています。スポーツ関連の施設やイベントは沢山掲載されているのですが、図書館のイベントのことは非常に小さく、後からこういうイベントがあったという話をよく聞きます。数日前に話した目黒区役

所の区報担当者は、前から図書館の特集をしたいと考えていたそうです。なぜ実現していないのか確認したところ、スポーツ関係は依頼があるが、図書館からアクションがないとのこと。私としては、区報の毎号に、各図書館で行っている子どもたちへのおはなし会やイベントなどを掲載して欲しいと思います。前回の利用者懇談会で、出席者から土曜日・日曜日のおはなし会やイベントの開催要望があって今年度からおはなし会を土曜日に開催したところ、お父様がたの参加がありました。それに合わせて本選びも考えています。私たちの団体だけでなく、他のボランティア団体や図書館のスタッフが一生懸命やっています。八雲では、例えば「大人のためのおはなし会」を実施した際に、企画した男性のかたと直接お話をしました。中・高校生も来てくださいとポスターには記載していましたが、中高校生は誰も参加せず、大人も5人ぐらいで、とてもよい企画・内容だったのに残念でした。区報にもしっかり載せて周知を積極的にしていただきたいと思います。

**参加者：**進め方について、まず全係が今年実施したことを説明し、その後、意見や要望質問等を聞いていただけませんか。それから、今年度の図書館事業について話し合うのであれば、始まる前に各係から図書館の事業に関する資料を出していただければ、もっと能率的な話し合いができると思うのですが、情報がうまく出ていないので今のご意見のように、周りに知られていないというようなことがあるのだと思います。なぜ資料が出なかったのかということと、全体の係からまず報告していただけないでしょうか。

**司会：**広報については後程お答えさせていただくということでよろしいでしょうか。資料については申し訳ありません。今回はそのような形での資料をご用意しておりませんでした。次回は、検討させていただきたいと思います。

**図書館：**それでは図書館の今年度の事業報告をいたします。先ほど子ども関連のイベントの報告をいたしました。お子さんだけでなく、普段、図書館を利用しているらっしゃるかたに向けて、秋の読書週間に、「大人のおはなし会」という名前で読み聞かせを八雲中央図書館で開催しました。お子さんには難しかったり、長かったり、普段のおはなし会では読むのを控えてしまうようなお話の中で、これは面白い絵本だから読んでみたいということで、あえて「目黒のさんま」という本や、もっと長いお話を読みました。参加者は8名で、大変好評でした。

それから大橋図書館では、「あなたの選ぶイチオシ作家」という投票を行いました。その投票結果を踏まえて、12月ぐらいまでに選んで、皆様が投票した人気の作家作品を展示するように繋げていきました。応募総数は700票程ありましたが、予想に反して票割れが多く、一番人気は予想どおり東野圭吾でしたが27票しか取れませんでした。1票とか2票という得票数の少ない作家も多く、選ばれた作家は約400人に達しました。もっと人気の作家が並ぶかと想定していたため、この結果には驚きました。利用者のかたが人気の本ばかり読んでいないぞという意思を示されたというか、読書の深さみたいなものがよく出たイベントでした。ただ投票するだけではなく、選んだ理由をコメントで書いていただいて綴り、後から読めるようにして、選んだ本の面白いと思ったことを皆様で共有するよう工夫しました。

守屋図書館では表紙を見せないで借りるという「思いがけない本との出会い」を、洗足図書館では、こういうところがおすすめの本というコメントだけで、中身はわからないように袋の中に何冊か入れて、「本の玉手箱」という企画を行いました。いつもなら手に取らないような本にも挑戦していただくという企画です。

目黒本町図書館では、時代小説のシリーズをあらかじめ3冊用意して、セットにして貸出しました。これも60セット以上貸出し、大変人気でした。

緑が丘図書館では、目黒にゆかりの作家をテーマにクロスワードパズルを作って挑戦していただきました。その過程で地域資料に触れて、調べないと解けない仕組みになっており、少し難しかったようで中には全部解けずに最後までたどり着かなかったかたも何人かおられ、作者は少し難しかったかと反省しておりました。

八雲中央図書館では、スマートフォンで図書館のウェブサイトの使い方講座や、行事用絵本を展示しました。また、こういうような時に読む本というようなご要望をいただいて、ブックリストをお返しするというのを行いました。どんなテーマが来るのか戦々恐々でしたが、例えば、恋でモヤモヤするとき、大切な人を亡くしたとき、人が死なないミステリー、最後にどんでん返しがある本、結婚10年たった夫婦の時間の過ごし方がわかる本等、特定のテーマの本ではなくて、曖昧な気持ちや落ち込んだ時に読む本などという切り口も図書館には必要なのかなと改めて考えました。これらの需要の多さにこちらでも今後色々考えていきたいと思っています。春の子ども読書週間と夏休みと秋の読書週間の事業をご説明したのですが、来年も各図書館で色々企画をしていきたいと思っています。積極的に周知いたしますので、ご来館いただければと思います。

その他のイベントということでは、図書館の本棚は分類番号順に本が並んでいますが、一定のテーマを決めて本を展示する「テーマ展示」を行っています。秋に行った利用者満足度調査でも、ご好評いただきました。普段は手に取らない本がパッと目に入ってきて借りやすいとか、こんなテーマで本が並ぶと面白いというご意見が寄せられました。例えば、中目黒駅前図書館では、「働く気持ちを応援するコーナー」があります。ここでは新社会人や先輩社員に起こるコミュニケーションに役立つ本や、ビジネスの数字に強くなるというようなテーマを決めて、一定期間、本を並べました。守屋図書館ではお財布の話を、洗足図書館では真夏の家計応援特集を、その読み物だけではなく、すぐに活用できる実用的な本の展示企画をしています。いずれも展示が終わると何を展示したのか分からなくなりますので、必ずリストにして後から探せるような仕組みにしています。

それから図書館でテーマを決めるだけではなくて、区の部署や他の組織団体と連携協力して展示をすることもありました。大橋図書館では地域包括支援センターと協力して、「認知症」に関する展示を行いました。八雲中央図書館では健康推進課とタイアップして9月に「自殺対策」を、人権政策課とは「インクルーシブの世界社会」を目指してという内容で、区の取組や計画は明るく楽しい話題ではないかもしれませんが、広く皆様に知っていただくために真摯に取り組んでいます。後でご説明いたしますが、1月に区内の医療機関と連携協力に関する合意書を締結していま

す。その病院の図書室などと協力して「治療と仕事の両立」というテーマで展示をしています。こちらは公共図書館ですが、先方は専門図書館なので健康や医療に関する専門的な本や知識についてご助言をいただきながら展示を行いました。今では毎月1回、LINEやXと、SNSで発信をするようにしています。SNSは区の公式アカウントなので区のウェブサイトから登録ができます。区報は、夏休みや読書週間のときに紙面の3分の1ページぐらいに掲載しています。テーマ展示については以上です。

**図書館：**では資料係から2点報告いたします。まず1点目が資料のデジタル化、具体的には令和4年度から地域資料のデジタル化を行っています。デジタル化を行った資料は、4年度10点（地図8点・書籍2点）、5年度は14点（地図8点・書籍6点）を予定しております。現段階では4年度のもものがめぐろ電子図書館で見られるようになっており、5年度も間もなく公表予定です。どうぞご覧ください。めぐろ電子図書館は、区内在住のかたは電子書籍を借りることができるのですが、デジタル化で公表している分については、広く一般の利用者にも見ていただきたいということで、めぐろ電子図書館にログインをしなくても見られるようになっております。

2点目は、先程の「健康医療情報コーナー」についてです。こちらは区内の東邦大学大橋病院、東京医療センター、東京医療保健大学の図書室や図書館と連携協力に関する合意書を締結しました。これを受けて健康医療について皆様に広く情報提供していきたいと、八雲中央図書館に「健康医療情報コーナー」を設置いたしました。内容としては、健康医療、病気や看護などに関連する図書館資料を配置し、地域における各種講座案内や交流会などの情報、チラシ・パンフレット等の掲示配布、国立がん研究センターから提供を受けて、がん情報資料をわかりやすい形にして展示、或いは配布しております。実際に並べている資料については、日本医学図書館協会による「やってみよう、図書館での医療健康情報サービス」というものがあり、連携している機関の方から助言をいただいて、私どもで最終的に選定を行って並べています。令和6年の蔵書点検の翌日から、「健康医療情報コーナー」という形で設置しておりますので、ぜひご覧ください。

**図書館：**もう1点ご紹介したい取り組みは、以前から無線LANに関するご要望が多く、今年の1月12日からWi-Fiが使用できるようになりました。八雲中央図書館と大橋図書館については休館日の関係で、2月9日からサービスが始まり、現在8館全館で無線LANサービス、フリーWi-Fiが使えるようになりました。

館内に掲示しているIDとパスをご自身のスマートフォン等の端末に入力していただくと繋がる仕組みになっておりますので、どうぞご利用ください。

**司会：**ここまで図書館の取り組みをご紹介させていただきました。それではご意見をいただきたいと思います。先ほど、大人のイベントのお話がありましたけれども、今年度八雲中央図書館で行いましたバックヤードツアーにご参加いただいたかたからご感想をいただけますか。

**参加者：**いつも八雲中央図書館を週2、週3回くらい利用させていただいております。幼稚園児の娘と一緒に通っていますが、スタッフのかたがたが顔を覚えてくださっ

て娘に優しく声をかけてくださるのがすごく嬉しいです。バックヤードツアーには小学生の息子も一緒に参加させていただき、私自身も小さい頃から本が大好きだったので、カバーのつけ方を知り、手が切れないのかなとか、色々思うことが沢山あって、私の方が楽しかったです。

**参加者：**読み聞かせ会も八雲中央図書館だと毎週違うグループさんが担当しているので仕方がないと思いますが、私たちが毎週通っているので、2、3か月に1回くらいの割合で、同じ本になってしまうことがあり、大人としてそれはわかるのですが、子どもは事情がわからないので、「あ、まただね…」みたいな感じで、それが嬉しい時があれば、残念な思いになってしまうこともあって、すごくいい本だからしょうがないとは思いますが、その辺を調整していただきたいと思います。

あと八雲中央図書館で Wi-Fi が使えるようになったのは存じ上げているのですが、何故か電波がつながりにくく、スマートフォンのマイページからの貸出しで、それを開くのがすごく時間がかかり、以前スクリーンショットを取って見せようとしたら、司書の方がそれだと不具合があるから駄目ですと言われたことがあり、その理由を伺いたかったところです。

「大人のためのおはなし会」は知らなかったもので、参加したかったです。次回はぜひ参加させていただきます。

**図書館：**お子様向けのおはなし会については、八雲中央図書館で読み聞かせの本が重なってしまうということについては、団体さん同士で情報交換がうまく取れなかったところはあるかもしれませんが。図書館ボランティアさんをお願いしているところですので、担当者とよく相談して、なるべく色々な本を知っていただくような形にできるようにしていければと思います。

**参加者：**おはなし会を担当している私たちは、1週間前に選書というリストを出していますので、その団体が何を読むかは、図書館側でわかると思います。その前の団体と重複するのであれば、そこはその団体に連絡を取ることができるはずです。連絡は図書館側からだと思うのですが、いかがでしょうか。

**図書館：**団体間の連絡は難しいので図書館側で調整いたします。担当者に重なりがないように配慮するように伝えます。

八雲中央図書館は、ほぼ全域で Wi-Fi が使えますので、ぜひお使いください。閲覧席でパソコンが使えるようにということと、カウンター付近で繋がるように各図書館内にアクセスポイントを設置しました。スクリーンショットをお断りしたのは、貸出し可能な貸出券の情報かどうかがわからないので、今ログインしたことがわかる状態のものをお見せくださいという話をしたのではないかと思います。2月以降はスクリーンショットを取っていただかなくてもその場でログインできると思います。ぜひご利用ください。

**参加者：**利用している図書館は、目黒本町、主に一番使っているのは八雲です。あと、それぞれ区役所に行って必要なときだけ守屋へという形ですべて使っています。バックヤードツアーを2回、利用者懇談会を利用して行うのはどうかと思います。

資料に関して何点か質問します。今年度の資料費及びその内電子図書館に関する

金額、それからふるさと納税額について伺います。図書館にとっては資料が最も大切で、資料が多くあるほうがよいのですが、例えば先ほどの、4年度の「目黒区の教育」を見ても資料費というものが載っていません。他のところは教育費を何にいくら使ったということが書いてありますけれども、図書館については以前から載っていません。資料費というのは大切なことなので、わかりやすいところに情報として載せてください。

あと1つは、今まで図書館の資料という言い方をしてきましたけど、新しく電子図書館というのが令和3年7月に始まりました。基本方針にも書いてありますが、「情報」というものを資料として考えていこうということになったと思うのですが、この「情報」というものをどう考えているのか。先ほど地域資料の電子データ化の話があり、10冊とお聞きしました。もっとももっとあると思うのですが、その情報をどう考えるかということが1つです。また、お金の話になりますが、情報を紙媒体なり、なんなりにするとお金がかかるのではないかと思うのですが、予算はどうなっているのでしょうか。

次に、電子図書館の今年の成果や資料の取得数についてです。各地で電子図書館が普及されてきて、全国的にまだまだ資料が足りない問題等が出されてきていますが、この図書館ではどのように取得していますか。目黒区立図書館では、資料の収集方針、除籍の方針があり、それに従ってやっていますが、この新しい形の資料である情報や電子図書館の方針について考えていくべきだと思います。

1つの例として、掲示について。緑が丘図書館では利用者懇談会のお知らせが入口に1枚貼ってあるだけで、図書館の内部には掲示されていませんでした。職員に聞いたところ、募集が終わって参加者が決まったのではずしたという答えが返ってきたのですが、利用者懇談会は参加を申し込めば終わりなのか、図書館に来た人がこれを見て、今回は申し込まなかったけど次は申し込みたいとか、そういうのをどう扱うかということだと思います。もう1つだけ例を。2月3日に行事があり、図書館関係だったので各図書館にチラシを置かせてもらいました。守屋図書館以外は私が回って見て歩いたのですが、緑が丘図書館は散々でした。文化会館内に掲示場所がない等課題はあるのですが、委託先の責任者に聞いたら、館内整理が終わったら大改革をやって掲示についての方針を発表するから楽しみにしていると言われたから行ってみたら、そんな状態でした。目黒区民センター図書館は、前はひどかったのですが、今はスペースのないところをないなりに上手に工夫しています。洗足図書館はもともと良いのですが、これらもひとつの情報だと思うのですが、色々な形があると思うので、少し検討してください。

**参加者：**すごくいい質問をしてくださって、それで答えていると時間がなくなってしまいうから、参加した者としては言いたいことを先に言わせていただいて、まとめて回答ということをお願いしたいのですが、よろしいですか。

**図書館：**はい。

**参加者：**この「目黒区の教育」という報告書の中に外国人登録者数が全然載っていません。障害者サービスはあるけれど、かなりの外国人のかたがいらっしゃると思い

ますが、日本人に対してしかサービスをしていません。外国籍、日本語が母語ではない人たちも、図書館を利用すると思うので、この資料に外国籍のかたの状況も載せるべきだと思います。私は多言語絵本の会の団体活動で、2006年から外国語のおはなし会「多言語読み聞かせ」というのをやっていました。この多言語読み聞かせを始めたのは全国で私が初めてで、色々なところで広がっています。

2015年に委託業者さんが図書館の貸出業務を行うようになって、身元がはっきりしない人は、おはなし会には参加できませんということになりました。外国のかたは複雑な名前の場合もあるにもかかわらず、それがはっきり登録されないと参加してもらえませんかというようなことになってしまい、それは無理ですということ、2015年から八雲中央図書館のおはなし会での読み聞かせができなくなりました。確か、あのときは30分のうち、図書館の人と私たちが15分ずつやっていて、子どもたちが今日は何語かな？と言って、とても楽しみにしながら入ってきていたのですが、それがなくなっていました。それはその外国の人たちの母語を守ることでもあるけれど、日本人にとっては色々な言語に触れる機会になるというものでした。外国籍の住民が増えてきて、そういう人たちがいなければ日本が成り立たなくなっているから、やはりこの多文化サービスというのをもう一度考え直してほしいと思っています。

3月9日に国際交流フェスティバルがあり、そこで多言語の読み聞かせというのをやってくれる人たちがいて、八雲中央図書館で本を借りてパーシモン大ホールのホワイエで行いました。それなりに人が途切れることなく色々な言語でおはなし会ができました。子どもは外国語のところはわからないけれど、音を楽しんでいる様子が私たちには分かりました。子どもの目がキラキラしていたのがすごく楽しかったという報告を聞いたので、もう一度復活することを検討していただきたいと思います。この資料の中にも外国籍の方の利用がわかるデータを掲載し、そしてそのサービスも考えていただきたいです。

**参加者：**以前は八雲中央図書館を使っていたのですが、引っ越したので、目黒本町図書館へ行くことが多くなりました。私は車椅子で移動しているので、目黒本町図書館内は狭く、分かりづらく、どうやって戻るのか分からなくなってしまうことを感じています。

今、検索が普及してきて、蔵書の中からの探し出しもリクエストの探し出しも随分上手になり、8館体制のトラック運送も非常に速くなりました。そういう中でこの8館が競って精一杯本を所蔵して本を開架で展示する必要があるのかなと思い始めています。もう少し絞って、あと開架してない資料はさんまくん（検索機）なり、自宅のパソコンやスマートフォンで探したりすることでもよいと思っています。

1つの問題提起として、目黒本町図書館のレイアウトをすっきりさせて、書架の高さをもう少し低くすることを申し上げます。八雲中央図書館は書架と書架の間が広いから上の棚に並んでいる本が見えますが、目黒本町はスペースが非常に狭くて車椅子で入るのも、上を見上げるのも大変です。だからもう少し整理してスペース



に余裕を持ったかどうかと思っています。時間があればこのことについて、皆様のご意見を聞きたいと思っています。

**参加者：**今の提案には、そのとおりという意見もあると思います。その代わり、やっぱりネットとかで検索するのが上手になったと言っても、そうではない人もいます。この問題を今提案されたからと言って図書館側が簡単に答えを出してほしくありません。こういう問題や、さきほど私が言った情報について利用者懇談会のテーマで取り上げ、利用者の考えを色々聞き取って、その上で対応してほしいと思います。すぐに図書館側で結論を出し過ぎだと私は思います。繰り返しますが、基本方針の最後の7に「情報」というのがあり、皆で考えていく、そういうのがいい図書館なのだとことを謳っています。それに則って利用者懇談会を開く。イベントがいけないと言っているのではなく、大切なことを話し合える利用者懇談会を開催してほしい。イベントはイベントで大切だと思いますが、今まで私たちは利用者懇談会というのを使って、色々な形で目黒区の図書館というのを利用者も一緒になって作ってきたので、それを無視しないでほしいと思います。

**司会：**ありがとうございます。今、いろいろとご意見、これが聞きたいということを伺いました。他にご発言されたいかたはいらっしゃいますか。

**参加者：**大学院生で、いつも洗足図書館を利用しており、利用者懇談会は初めてです。

2点お伺いします。1点目は、利用者懇談会の位置づけと、利用者懇談会の意見を反映して図書館が良くなったという事例があれば伺いたいです。

2点目は、目黒区の図書館の基本方針の5番目の「地域とつながる」点について、「交流の場として地域の課題解決のための資料やレファレンスサービスをします」と書かれていますが、どのような機会を使って地域の課題やニーズを把握して、それをサービスに反映させているのか、どういう方法でされているのかをお聞かせいただければと思います。

**参加者：**いつも守屋図書館を使わせていただいております、初めて懇談会に参加しております。参加のきっかけは、2年程前に守屋図書館の1階の閲覧席がぼろぼろになっていたのも、シートの交換や、予算を使っていたりするにはどうするのか、とカウンターでお伺いしたことがあります。窓口には複数のかたがいらしたのですが、この館には専任のかたがいないので八雲中央図書館へ行ってお話ししていただけますかと言われました。今日この場に初めて参加させていただいて、資料係長さんが守屋図書館の館長だということがわかりました。当初私、間違ったことを言われたんだとすごくがっかりした気持ちになったんですけど、図書館は目黒区の情報を受け入れたり発信したりするところだと思いますが、区長へのご意見番のはがき入れみたいのがあったんですね。図書館サービスに関するご意見というか、投書箱じゃないですけど、100あるうちに1つくらい良い提言もあると思うので、窓口で意見を聞いてもらえるような、一利用者としてもっとサービスしてほしいとか、それをもっとこうしたらよくなるのではないかという部分を受け入れていただけると大変嬉しいと思い、お話をさせていただきました。

それから色々なテーマ展示の開催状況も把握させていただいております、ブックリス

トを作っていただいていると思うのですが、そういうチラシを館内においていただけると、もっと気軽にそういったものに興味を持って見てもらえるし、図書を借りる立場としては、こういうテーマがあるんだと幅広く見る視点、また別の視点で観察することができるので、ポスターもそうですが、チラシとか作っていただければなと思いました。友人のいる香川県では、新着図書が入ったらその一覧が何枚分もの藁半紙にこんな概要ですというような素敵な内容で表示されていて、いいなと思ったこともあります。

**参加者：**主に中目黒駅前図書館を利用しています。今回初めて来ましたが、ホームページ上に前回の議事録が出ていたので、こんな感じなのかなとは思いました。最近では、会議の前に事前に資料が配られて、事前にそれを見て発表することが多いと思いますが、今年度の図書館事業についてとあるけれどもそれについては何も書いていないので、わからないと思ってきました。今日、色々聞きたいことがありましたが、1つ、目黒区の図書館は建物がとても古いと思います。建て替えの予定はあるのかなと、いつも疑問に思っています。

**参加者：**時刻表が欲しいのですが、何百回か何千回か通っていますが、一度も出会ったことがない。出されたら即持ち帰る特別なマニアがいらして、僕らみたいな素人には手に入らないのか、もしもお答えがあればありがたいです。

**図書館：**資料費のことですが、図書、新聞、雑誌を購入しています。八雲中央図書館にいらっしゃっていただくと分かると思いますが、パソコンでデータベースを見ることができます。そのようなデータベースの契約等を含めて約9,000万円です。電子図書館に関するものが約300万円。決算など色々なところで皆様に公表しています。資料費の前年度比は基本的には横ばいです。

電子図書館は「めぐろ電子図書館」と言います。各自治体の図書館で閲覧や貸出しできる電子図書館の仕組みができて、積極的に進めているところですが、成熟度が足りないので様々な課題があることを認識しております。公共図書館向けの電子書籍はまだ少なく、公共図書館が無料で貸出しするという著作権に関わる部分が発生しますので、なかなか最新のコンテンツが図書館向けに出てきていません。皆様にご利用いただけるように充実させたいところですが、もう少し時間がかかると思っています。

目黒区の電子図書館の考え方として、区民の方にとって一番大事な資料である地域資料を中心にデジタル化を進めていくことを考えております。ただし、デジタル化も著作権の問題があり、著作権侵害が発生しない、ある程度年数の経ったものを中心に進めております。地図や古い地域資料は劣化がかなり進んでおり、買い替えできないものではないため、どれをデジタル化として優先して進めていくかが課題の一つです。電子書籍、電子図書館についての収集や廃棄の方針については、今のよう電子書籍は想定していなかったもので、今後どのような形で収集を進めていくか、私どもの色々な経験や皆様のご利用の仕方等を含めて、調査研究を進めている段階です。

本のリサイクルコーナーは各館出入口付近に置いています。破損していて汚れや

傷みがひどく、図書館の資料として適さないものについて廃棄を進め、一部をリサイクルとして提供しています。時刻表は雑誌の扱いにしていますが、雑誌は保存年限を超えますと、廃棄処分になっています。雑誌は特に紙が弱く傷みも多いので全部リサイクルには回らず、提供しても問題ない状態のものを提供するようにしており、各館で廃棄処分かリサイクルにするか判断しています。先ほどの時刻表がないというお話ですが、私たちもコントロールしようがないのが現状です。

守屋図書館のことですが、多分ソファのところだと思います。修理等について検討しておりますので、少々お待ちいただければと思います。またカウンターで、八雲中央図書館の方へと言われた件ですが、恐らく私が普段、守屋図書館に常駐しておらず八雲中央図書館におりますので、そちらにお問い合わせくださいというつもりだったと思います。もう一度スタッフに確認して、利用者の方にわかりやすくご説明するよう申し伝えます。申し訳ございませんでした。

**図書館：**図書館の建て替えに関して、図書館が全体的に古いというお話を伺いました。

目黒区立図書館 8 館のうち、一番古いのは目黒区民センター図書館で、カウンターまではスロープがありますが、各本棚のところには階段を使わなければ行かない構造で、バリアフリーではありません。目黒区では区全体の施設を見直す専門部署があり、区全体で見直しに取り組んでいます。目黒区民センター図書館は複合施設の中にあって、区民センターの施設全体を見直しており、令和 9 年に閉鎖をして、解体後に何年もかけて建設する計画になっています。今、計画が進んでいるのは、目黒区民センターだけとなっております。

**司会：**大分時間が押しており、皆様からいただいたご意見にお答えする時間が足りず申し訳ありません。色々のご意見をいただき本当にありがとうございました。今回のご質問等について、こちらの方で検討させていただきまして、また改めて回答させていただければと思います。質問しきれないところについては、アンケートの裏にお書きいただきましたら、そちらも検討させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。総括という形で、館長から閉会の挨拶をお願いします。

**参加者：**今年度の事業報告がありましたが、企画調整担当係長と貸出・予約係長の発表がなかったので、何もやらなかったのか、その辺も含めて総括してください。

#### 4 閉会（八雲中央図書館長挨拶）

**館長：**貴重なご意見をいただきありがとうございました。思い至らなかった、気づかなかったこと等、多数ご意見をいただき、非常に参考になったところでございます。

企画調整担当と貸出・予約係の件でございますが、企画調整担当係長は、区有施設見直しの中で、新しい区民センター図書館の構成や運営、閉館期間中の代替案の検討を進めております。貸出・予約係は、それぞれのルールや仕組みづくりなどの対応をしております。目黒区に所蔵がない資料の貸出しに対して、購入が難しいものであれば、その資料を所蔵する他区等の図書館を探して借用手続きをしたり、あるいは逆に他区へ貸出手続きをしたり、非常に地道な業務を進めています。貸出・予約係長は、中目黒駅前図書館の館長兼務のため、中目黒 G T の地下 1 階の観光協

会からG Tホール、中目黒駅前図書館の施設管理も行っているため、施設の修繕工事や各種対応も行っております。

図書館施設のリニューアルについては、古い施設が多く課題がありますが、区全体で施設の老朽化が進んでおります。中でも60年、70年経過した区立小中学校の施設に関して、区全体としても喫緊の重要な優先課題として限られた財源の中で取り組んでおり、図書館はすぐにご要望にお答えできないところをご承知おきいただきたいと思っております。

最後に、総務省統計局のウェブサイトで令和4年の流通している新刊点数は66,885点とされており、毎年少しずつ新刊発行数は減っています。それでも66,000点以上の新刊が毎年出ていますので、まだまだ活字文化は、この本の世界では重要な媒体のひとつだと認識しています。限りある予算の中から少しでも良い本を選書してラインナップに加え、それをご紹介していく。皆様が資料に出会って、それを糧により豊かな生活を送っていただく、そういう使命があると考えています。

最近はXやLINEでの情報発信にも努めて参りました。その分、館内掲示や、区報に力及ばなかったということも、今日お話を伺い認識し、広報も積極的に取り組んでまいりたいと思っております。令和6年度も皆様と実りのある利用者懇談会でご意見を伺い、一緒に考えながら未来の目黒の図書館をよりよい図書館にしていきたいと思っておりますので、どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。何かお気づきのことがありましたら、お気軽にお問い合わせいただければと思います。これで今年度第3回利用者懇談会を終了させていただきます。

**利用者：**利用者懇談会の基本についての回答が漏れていました。やはり利用者懇談会に初めて参加した方もいらしたので、その質問には答えてください。

**図書館長：**図書館は、例えば本を選び、並べ、貸出しをするだけではございません。

利用者懇談会は、実際に利用してくださっている皆様と一緒に考え、よりよい図書館を作っていこうということで、毎年、コロナ禍の時を除き、利用者と意見交換、情報共有、相互理解、相互協力を進めていく貴重な機会、貴重な場であるという認識のもとで、実施をしているものでございます。

**司会：**利用者懇談会を終了いたします。次回の日程等は、未定でございます。図書館のウェブサイトや区報で周知させていただき、各館でもチラシやポスター等でご案内いたします。次回も引き続きよろしくお願いいたします。本日はご参加いただき、ありがとうございました。

以 上